

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月3日(土)

会場 日立商業高等学校体育館

【男子の部】 第2日目 Fコート 第1試合

チームA 県立黒沢尻工業 岩手	55	{	19 1Q 22 15 2Q 13 2 3Q 19 19 4Q 31 OT	}	85	チームB 市立柏 千葉
-----------------------	----	---	---	---	----	-------------------

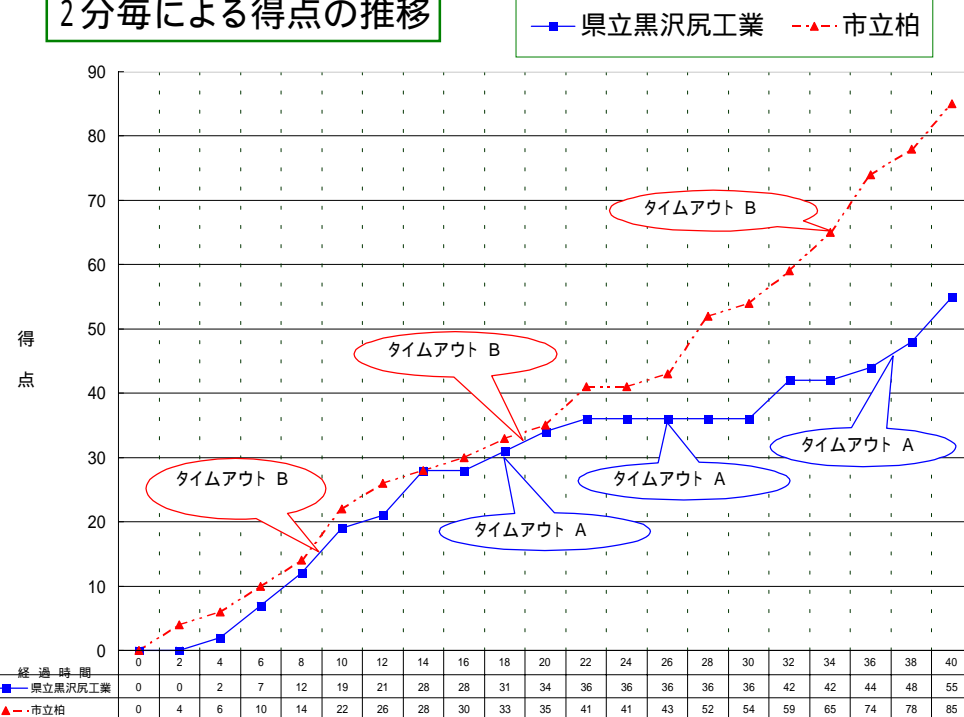
県立黒沢尻工業

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	平野真太郎	25	5	18	4	10	2	2	3	5	5	5	0	1	0	40
5	藤原 源太	0	0	7	0	3	0	0	1	0	3	2	1	1	0	40
6	明戸 一真	9	1	9	3	7	0	0	0	2	2	2	4	2	2	38
7	長谷川 武	11	1	4	2	11	4	6	4	3	4	6	2	2	3	39
8	高橋 翼	8	1	3	2	4	1	2	3	1	0	0	1	0	0	16
9	小野寺慶起	2	0	1	1	5	0	0	2	3	1	1	2	3	0	22
10	金澤 聖士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
11	稲垣 和寿															DNP
12	藤原 純															DNP
13	山影 雄大															DNP
14	佐々木直人															DNP
15	児玉 佑介	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
コーチ	後藤 靖宏								0							
		55	8	42	12	42	7	10	13	14	15	16	10	9	5	200
		確率	19.0%		28.6%		70.0%									
																計 29

市立柏

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	星野 圭佑	0	0	0	0	3	0	0	1	0	2	0	0	3	0	12
5	太田 敦也	20	0	0	10	18	0	1	2	5	16	5	1	0	0	36
6	副島 淳	16	0	1	7	12	2	3	2	5	2	2	0	2	2	20
7	青木 崇記	11	1	8	4	11	0	0	1	1	4	4	5	10	2	32
8	清水 勇佑	9	0	0	4	6	1	1	0	1	8	3	1	2	1	36
9	小野寺 翔	16	0	0	8	9	0	0	1	0	1	3	0	2	0	38
10	朝倉 雅史	7	1	3	2	4	0	0	1	3	2	3	2	1	0	20
11	楯 和也	4	0	2	2	3	0	0	0	2	1	1	0	1	1	2
12	佐藤 樹里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
13	斉藤 良徳	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
14	麻生 卓也															DNP
15	工藤 優季															DNP
コーチ	飯沼加寿夫								0							
		85	2	14	38	67	3	5	8	17	36	21	9	22	6	200
		確率	14.3%		56.7%		60.0%									計 53

2分毎による得点の推移



戦評

ハーフコートマンツーマンの市立柏に対し、黒沢尻工はオールコート2-1-2ゾーンプレスからの、ハーフコート1-3-1ゾーンを敷く。

第1P、両チームとも速攻をかけあう。市立柏が長身の#5太田のゴール下、#7青木、#9小野寺が得点していく。黒沢尻工もルーズボールを取り、#4平野、#7長谷川などが得点。19-22で市立柏のリード。

第2P、一進一退の攻防が続く。市立柏は#5太田を、黒沢尻工は#7長谷川を使い、センターを起点としてプレーが進む。34-35で市立柏が僅か1点リード。

第3P、大きく試合が動く。黒沢尻工は、シュートパスにミスが多く、得点できない。市立柏は#6副島の攻守にわたる活躍で、いっきにペースをつかむ。36-54で市立柏が18点の大量リードを奪う。

第4P、黒沢尻工は、#4平野、#6明戸、#8高橋の連続3Pシュートで追い上げを見せるが、結局55-85で、市立柏が勝利した。市立柏#5太田と黒沢尻工#7長谷川のセンター対決は、パワフルですばらしかった。そして、ガード、フォワード陣もスピードがあり、立派な両チームであった。

主審 岸田吉明

副審 平原勇次

記入者 富岡秀明